

岩佐邸の家の中を歩いてみよう。

予算も面積も小さな家。

でも、家族にちょうどよい大きさです。

無駄を省き、自然素材にこだわり、
ていねいにつくりました。

だから、家じゃうが土地よく、
お気に入りの場所になりました。
ローコストのためにDIYも、
家族の絆を強める大切な思い出
になりましたようです。

フランボックス

フランのポイント

どこをとってもお気に入りの場所。
家族の毎日が楽しくぎざぎざれます。

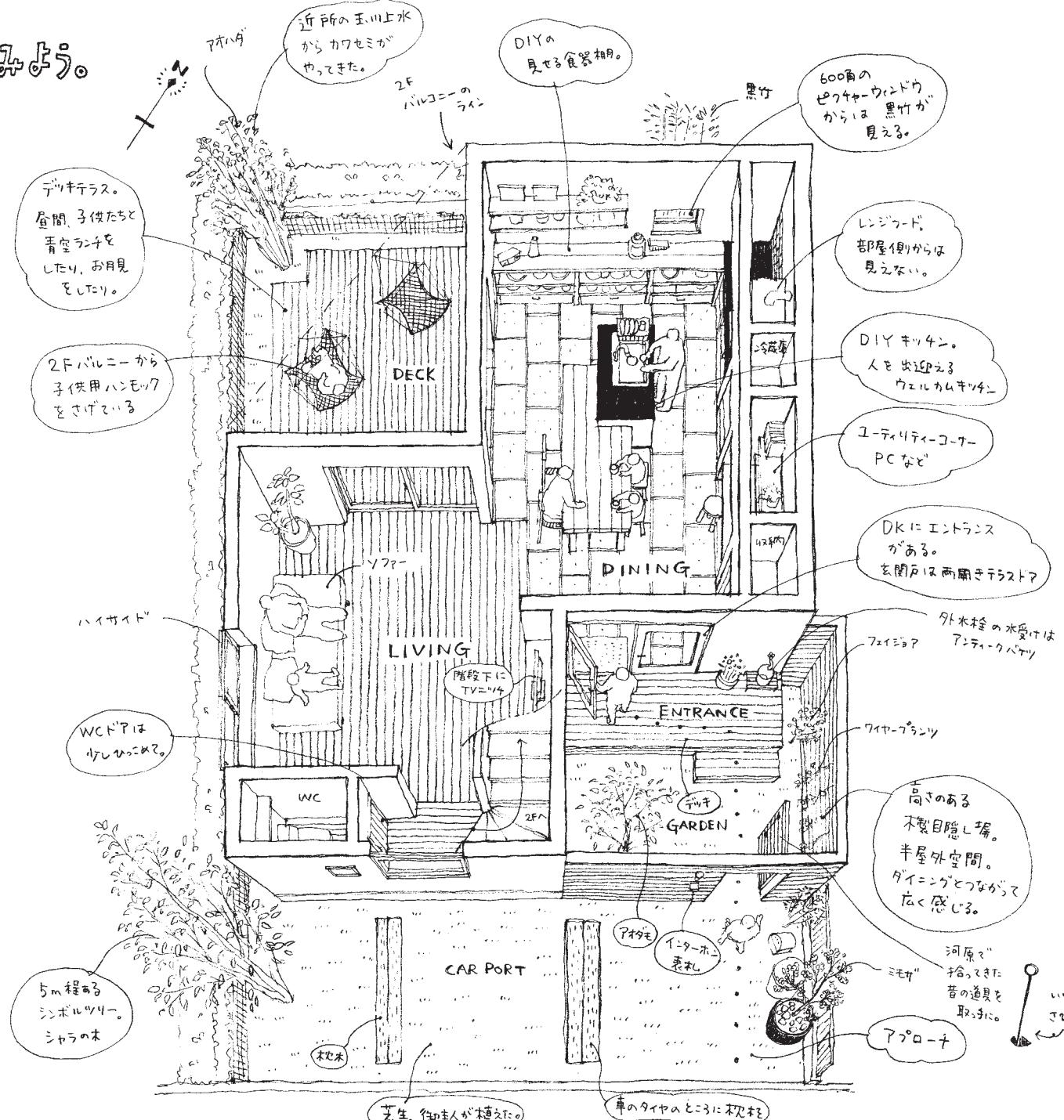
敷地25坪で建ぺい率40%で、
敷地のすみすみまで活用しました。
敷地活用術100%。

お得情報!

屋根のない玄関は、
床面積には入らない。

敷地面積 25坪
建築面積 10坪
延床面積 20坪

文 / 小山和子 イラスト / 酒井葵

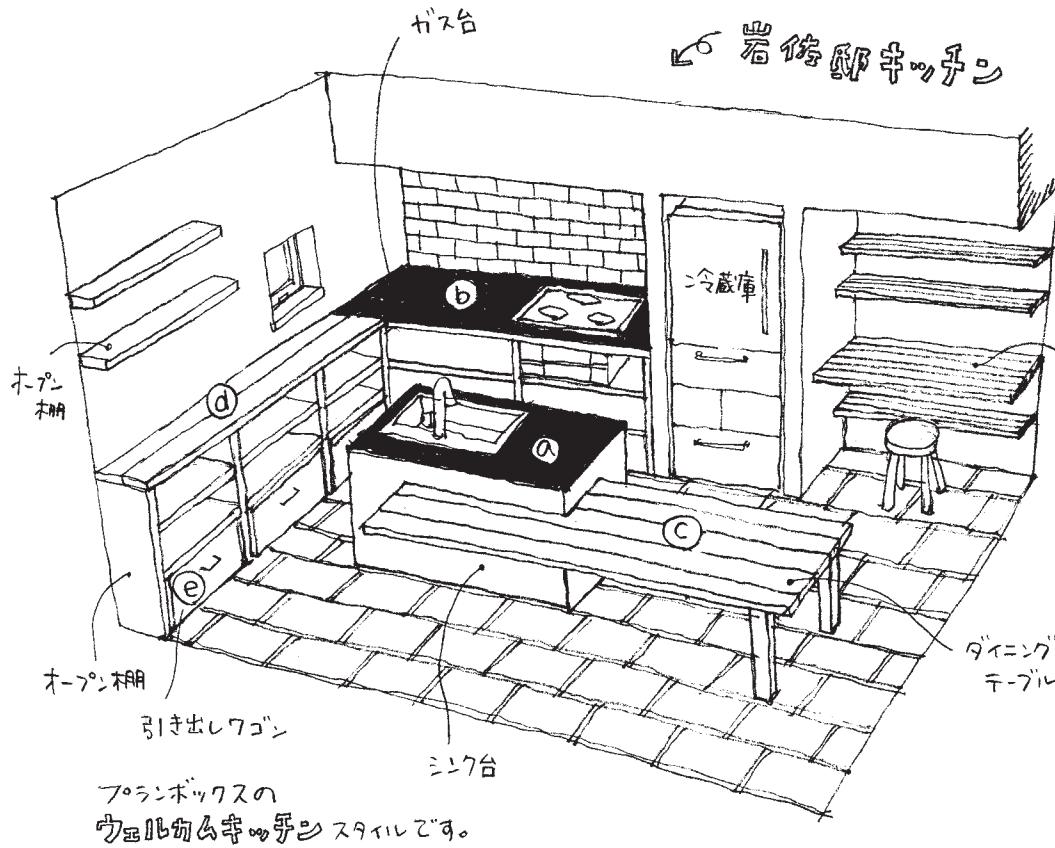


イラスト：酒井葵

岩佐邸DIYキッチンの作り方

お父さんの生まれてはじめてのDIY、家族みんなで手伝います。
ハラハラときどき、でも大成功!!

ここでは、岩佐さん流DIYキッチンの作り方を紹介いたします。
コストを抑えながらも、いいものを作りたい人に、少しでもヒント
になればと思います。
※タツチラボンボックスでアレンジしている箇所もございます。



④ 使用した工具類

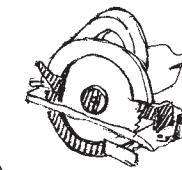


コードレスインパクト
ドライバー

※沢山使う時は、
取替用バッテリーが
あるとよい。



ペイント用ハケ



岩佐さんは
LIFLEX
DIY用電気刃口
165mm 使用

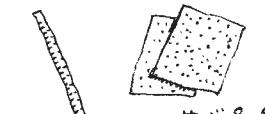
丸ノコ



ノコギリ



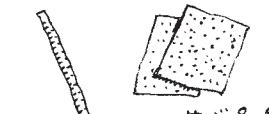
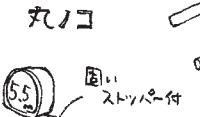
コンベックス
5.5m×1上



サンドペーパー



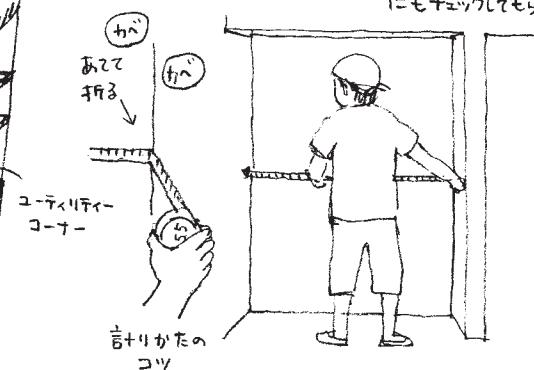
木工用
ボンド



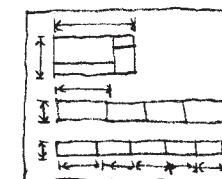
サニガネ

⑤ つくる前にやること

- 現場採寸。現場監督さんにもチェックしてもらう。



- 設計図と木取り図を作成する。
- 設計者と現場監督に指導してもらう。
- ホームセンターに通って、木材の材料寸法を把握しておく。



木取り図

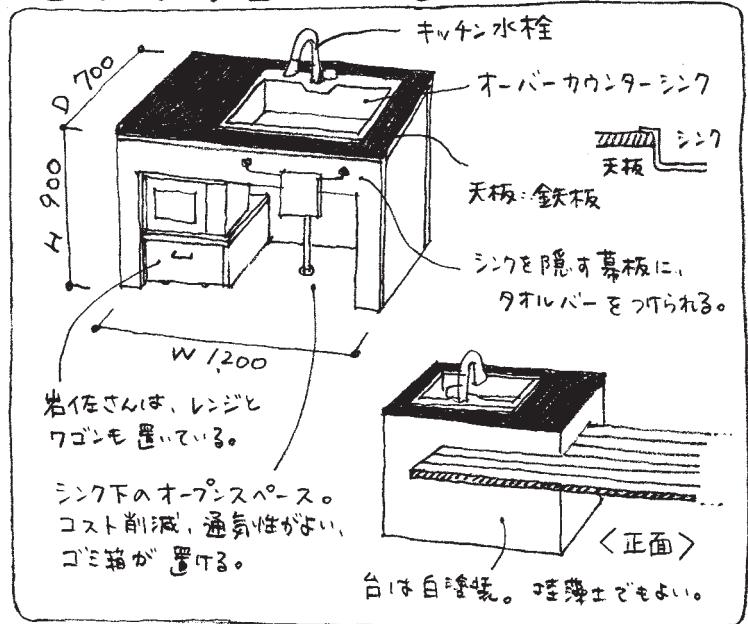
※電ノコの刃幅も計算する。

- 大きな材料は、ホームセンターでカットしてもらう。

大きなカットは、
専門の方にやってもらいた
方がきれい。
穴あき加工も
してくれます。
(場所による)



① シンク台をつくる（下台のみ）

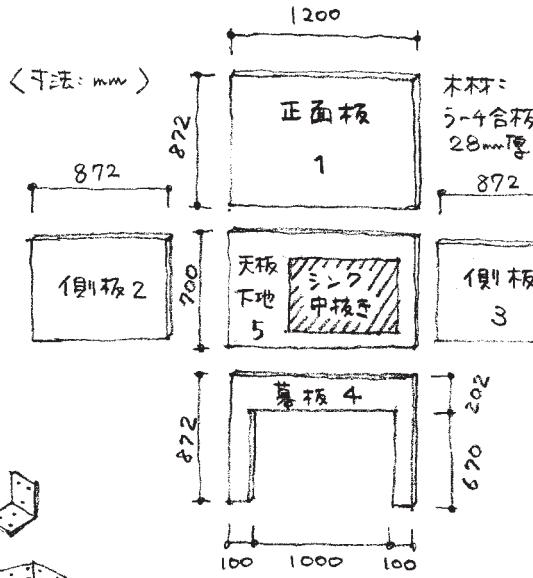


費用

約 12000 円
※ 鉄板、シンク、水栓
は除く。

材料

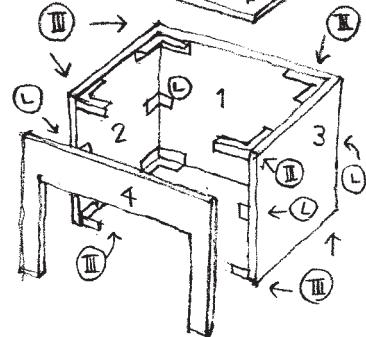
- ・ ラ-千合板 28mm 厚 4枚
- ・ ビス 25mm 60本
- ・ L型金物 4個
- ・ 金折3方面 8個
- ・ 紙ヤスリ
- ・ 塗料 白



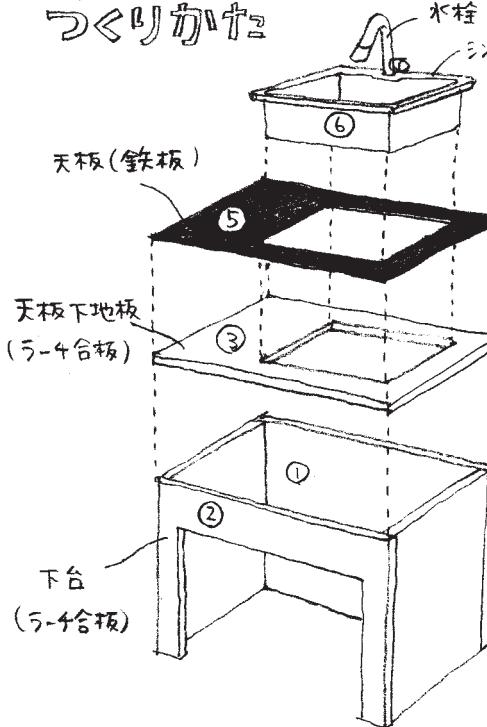
寸法図と金物位置

L型金物

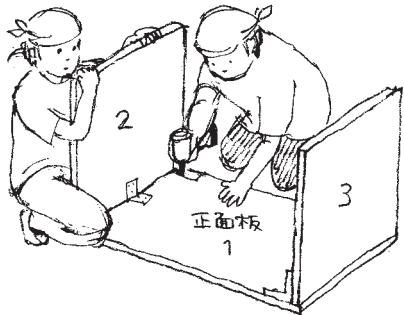
金折3方面



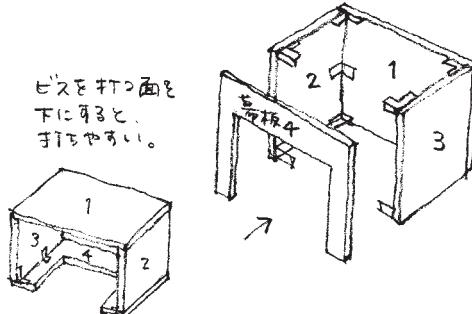
つくりかた



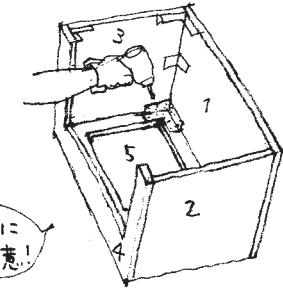
- ① 正面板1と側板2と3を金物(種類、位置は、右上図参照)で固定。



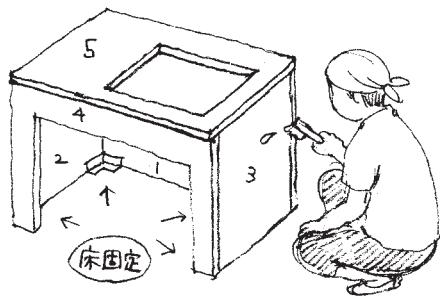
- ② ①に幕板4を金物で固定。



- ③ 天板5を下にし、②を逆さまに置いて固定。



- ④ ③をひっくり返し、ヤスリがけをし、白塗装とする。
乾いたら床に固定。

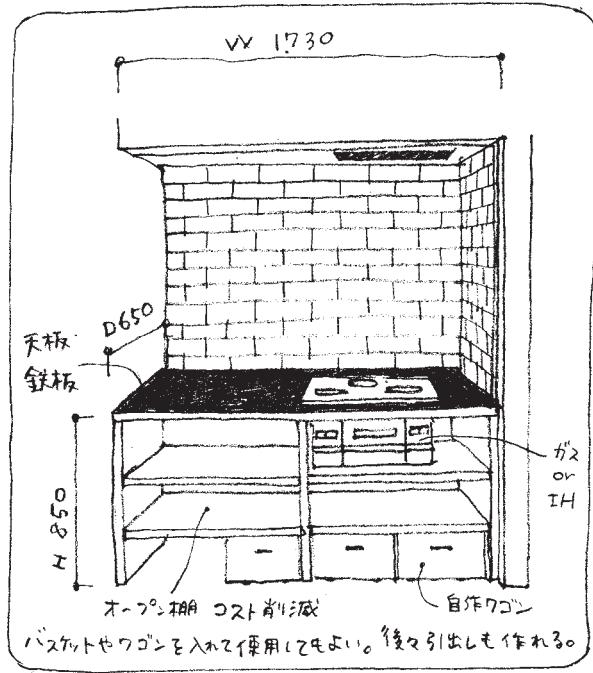


- ⑤ ④に鉄板をのせる。(専門業者)

- ⑥ シンク、水栓、排水ホースを取り付ける。(専門業者)

イラスト: 酒井葵

⑥ ガス台をつくる (下台のみ IHでOK)



費用

約 10000 円

材料

天板 / 側板 /

- ・ラ-千合板 28mm厚

相板

- ・ラ-千合板 12mm厚

- ・ビス 30本

- ・L型金物

下台用 8個

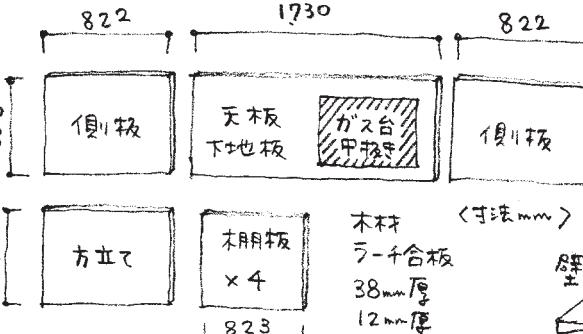


棚板用 16個



- ・糸鉗ヤスリ

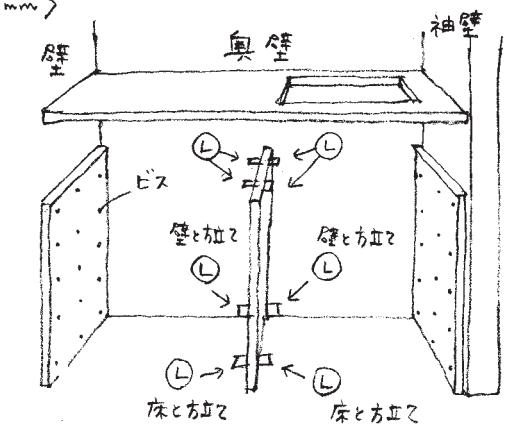
- ・塗料 白



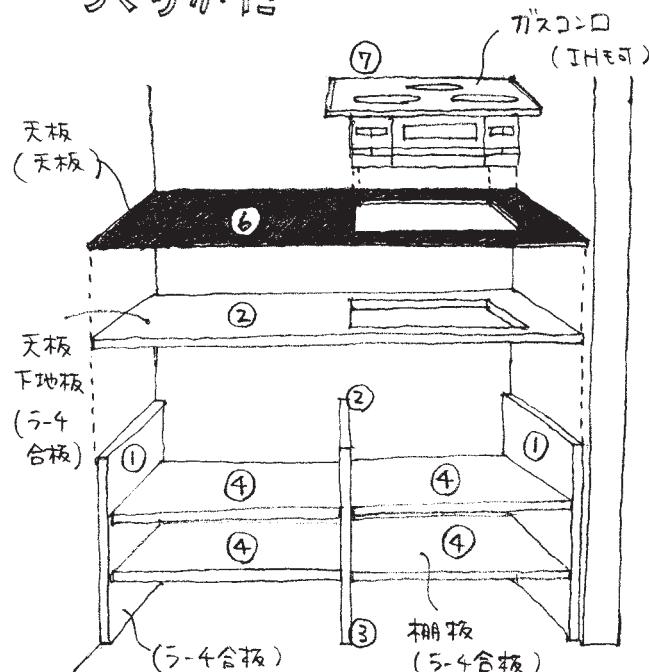
寸法図と金物位置

- ・ビス

(L) L型金物



つくりかた

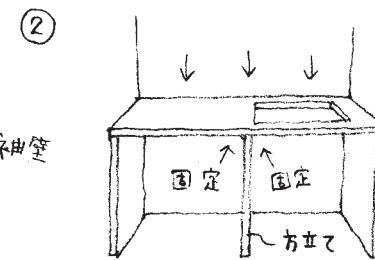
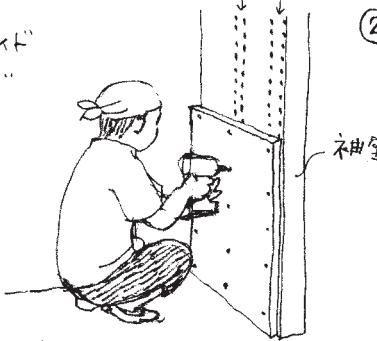


① 側板を、両サイドの壁にビスで固定する。

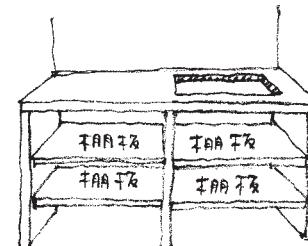
* 木柱がある位置に、ビスを打つ。

* 壁と床の下地の段階 (石膏ボードと合板)に作業を行う。

④ ③に、L型で棚板を固定。



天板をのせて、天板と方立てをL型で固定する。
* 壁と床、下地の状態。



L型とはけを
使って塗る。



⑤ ヤスリをかけ、白塗装をする。

⑥ 鉄板をのせる。(専門業者)

⑦ ガスコンロを設置する。(専門業者)

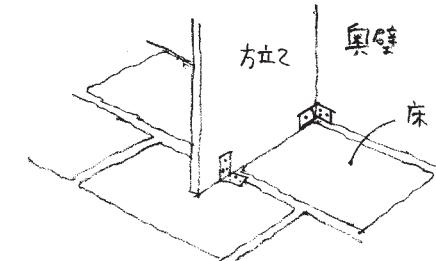
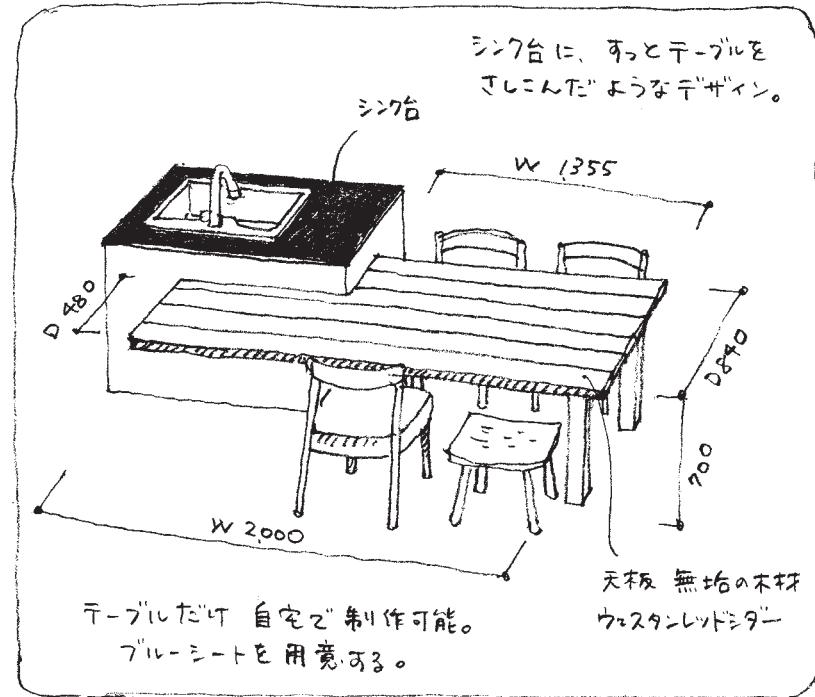


イラスト: 酒井葵

③ ダイニングテーブルをつくる (ウェルカムキッチン)



費用

約 30,000 円

材料

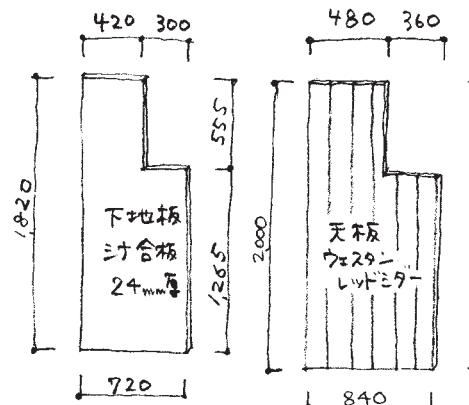
天板
・ウェスタンレッドシダー
140 × 38 × 2000mm
× 6 本

脚

・ウェスタンレッドシダー
105mm 角 × 1820mm
× 1 本

天板下地

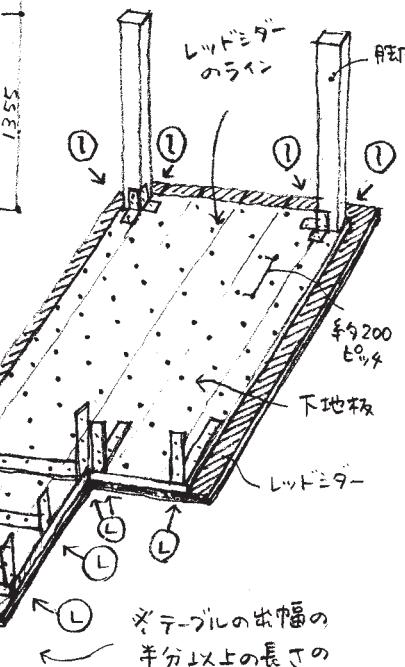
・シナ合板 24mm 厚
4 × 6 板 × 1 枚
・ビス 50mm 100 本
・L型金物
・木エボンド
・手ヤスリ



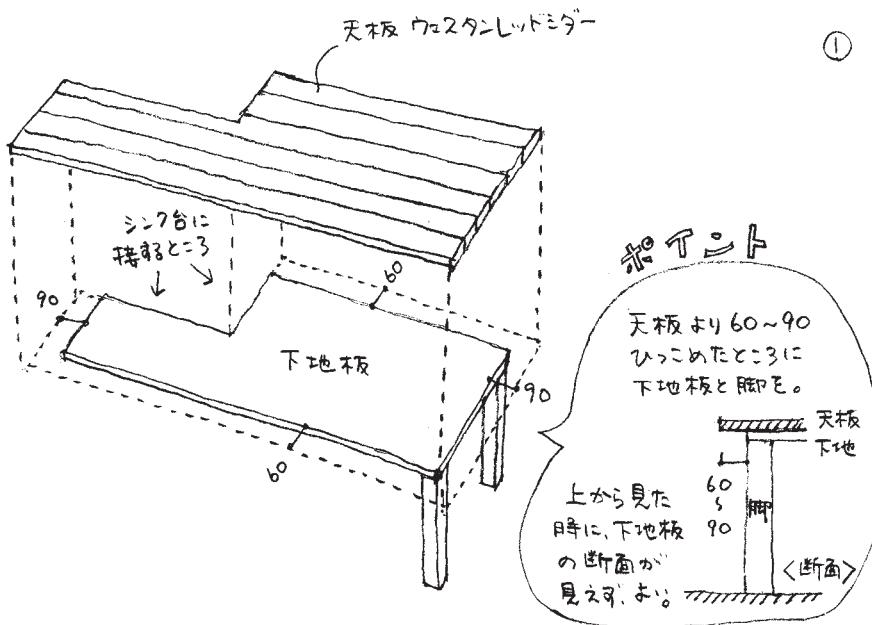
寸法図と金物位置

・ビス

① L型金物 大 ② L型金物中

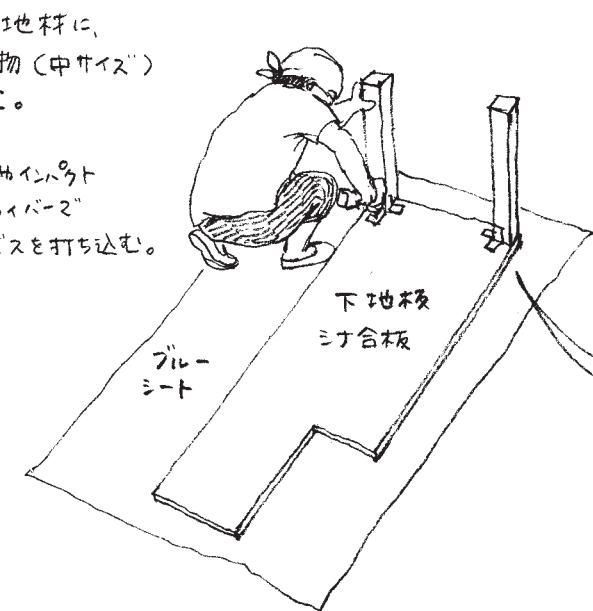


つくりかた



- 脚を下地材に、
L型金物(中サイズ)
2" 固定。

電動インパクト
ドライバー
ビスを打ち込む。



先に、脚間にL型を
固定しておいて、
取り付けが楽。

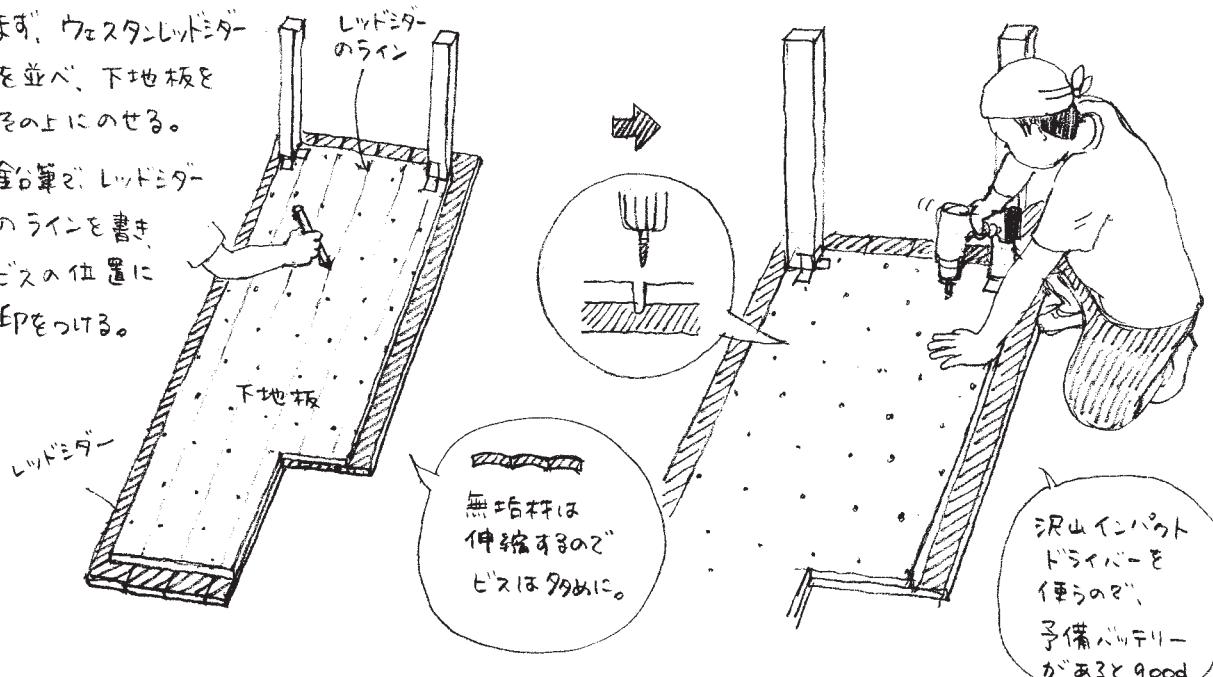
外から
見えないように、
内側から
L型をつける

イラスト：酒井豪

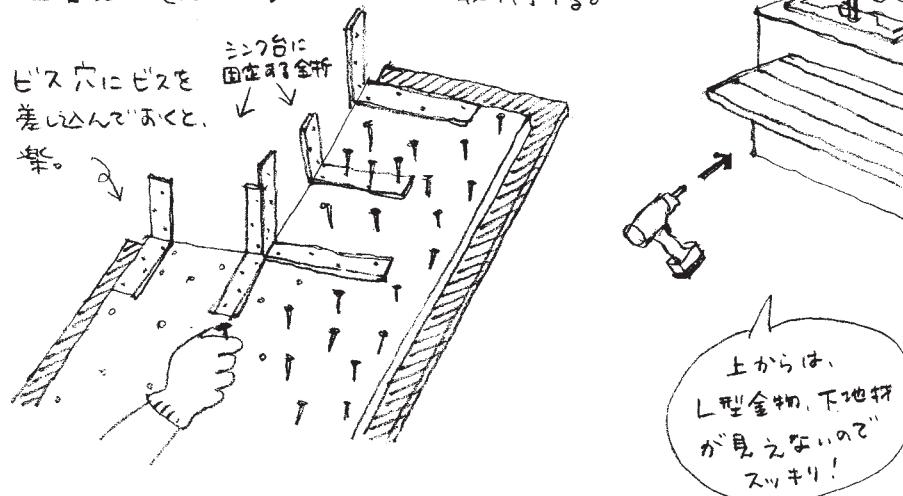
- ③ ビスの下穴をドリルで開けておく。
そうすると、ビスが打ち込みやすくなる。

まず、ウエスタンレッドシダーを並べ、下地板をその上にのせる。

金筆でレッドシダーのラインを書き、ビスの位置にEPをつける。



- ⑤ ビス穴にビスを差しこんで、一気に電動ドライバーで打ち込んでいく。この時、シンク台に固定するL型金物(大サイズ)も、同時に取り付ける。



- ビス穴を開ける。
レッドシダーまで一気につける。

- ④ 天板と下地板+脚の接着面を、木工用ボンドで塗り、はりあわせる。

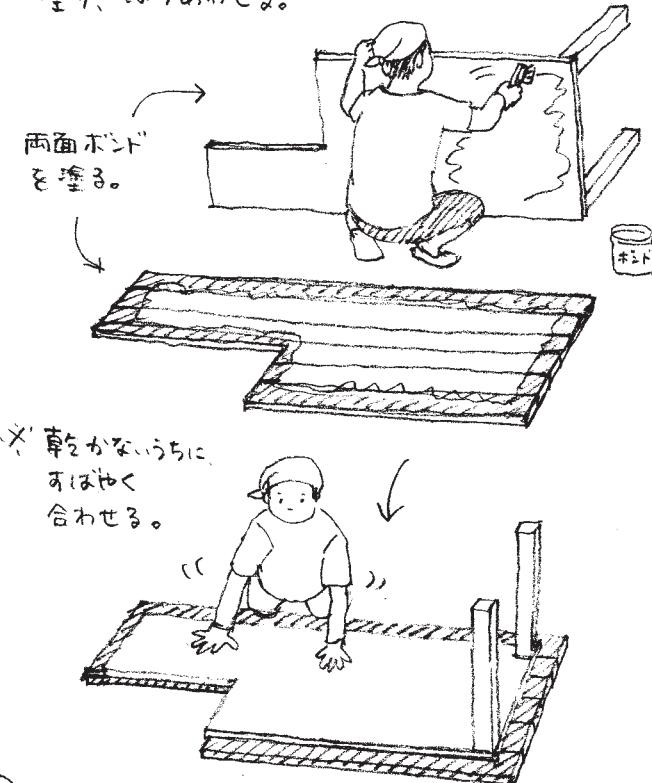
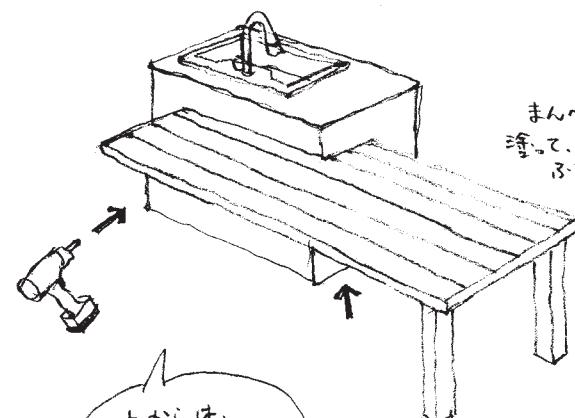


イラスト:
酒井葵

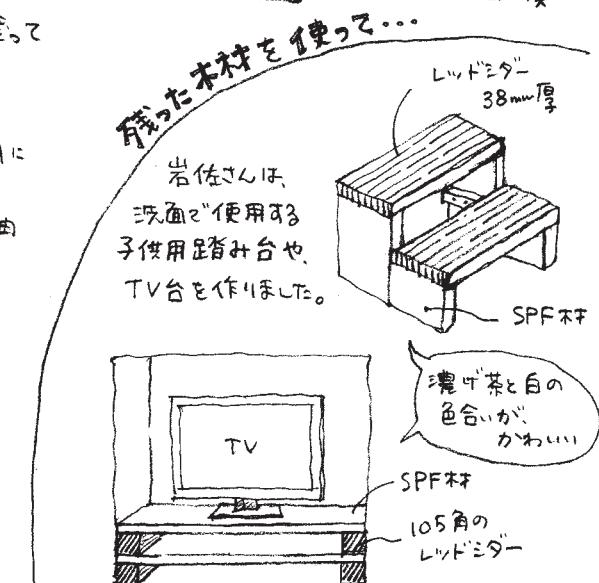
- ⑥ シンク台に、テーブルを固定。



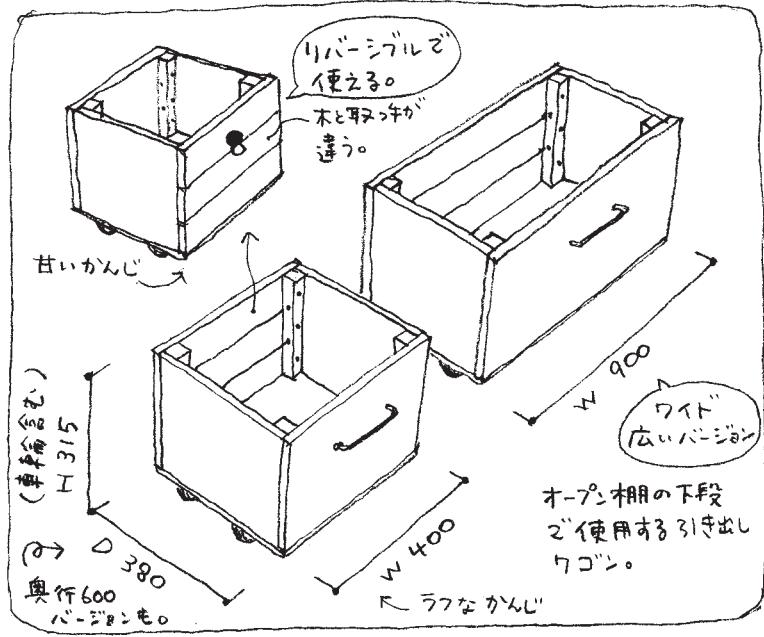
- ⑦ オリーブ油を塗って完成。



- * オイルやワックスを塗ると、保護される。
* 見下自もしっとりして、いい色になる。



(d) 引き出しワゴンをつくる



費用

ワゴン1個あたり
約2000円

材料

正面材2種

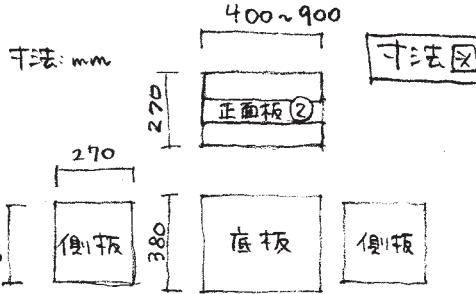
- 1×4木 (SPF木)
- コンパネ 12mm厚

底板

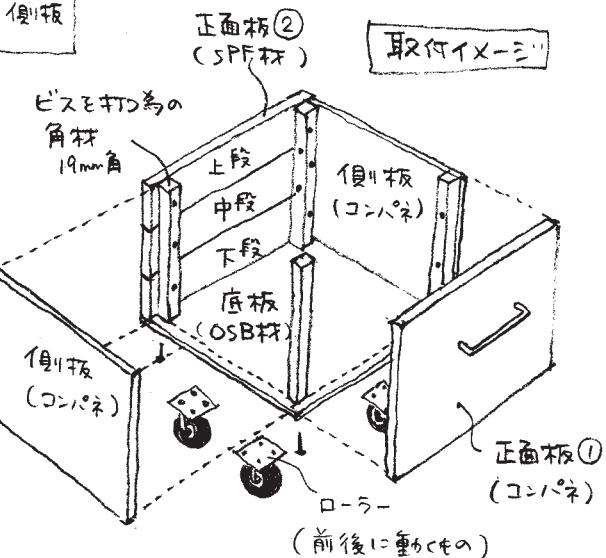
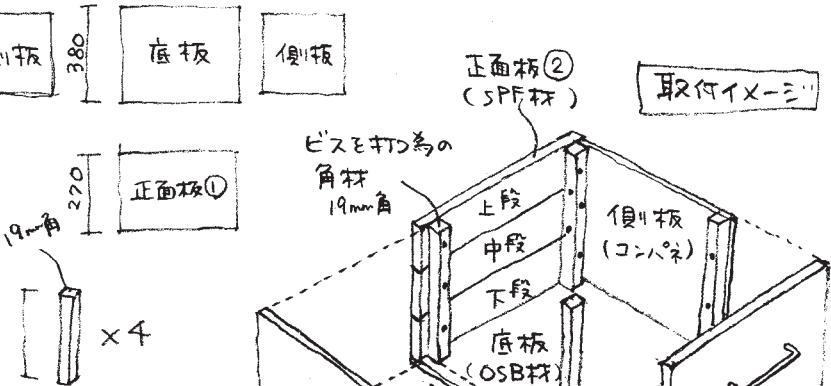
- OSB合板 9mm厚

つなぎ材

- SPF材 19mm角
- ローラー
- ビス 25mm
- ローラー用トラスター・ピック

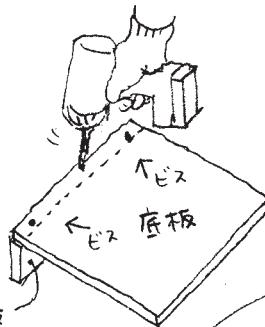


※寸法は、岩佐邸の
オーブン扉に合うサイズ
です。参考まで。

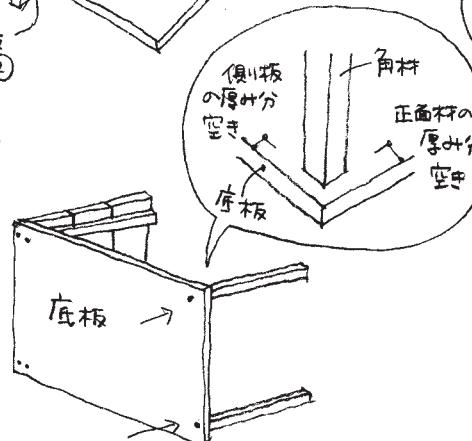


つくりかた

- ① 正面板②の下段を、底板の裏側から両面糊2ヶ所でビスで固定。



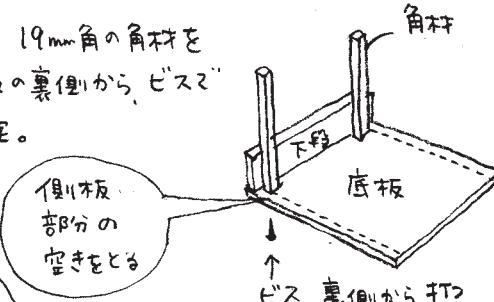
- ④ 正面板①の方にも、19mm角の角材を底板の裏側から固定。



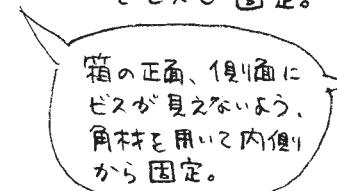
正面板と側板の厚み分、空きとる。

イラスト: 酒井 葵

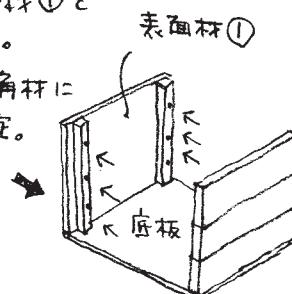
- ② ①に19mm角の角材を底板の裏側から、ビスで固定。



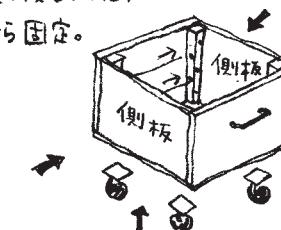
- ③ ②の角材に、正面板②の上段・中段・下段をビスで固定。



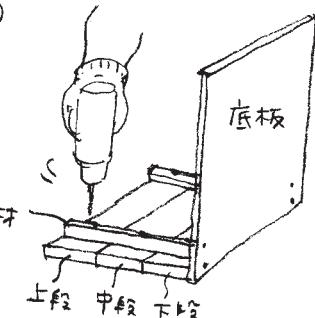
- ⑤ ④に正面材①を取り付ける。内側から角材にビスで固定。



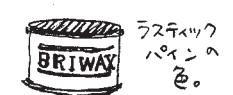
- ⑥ ⑤と同様にして側板を内側から固定。



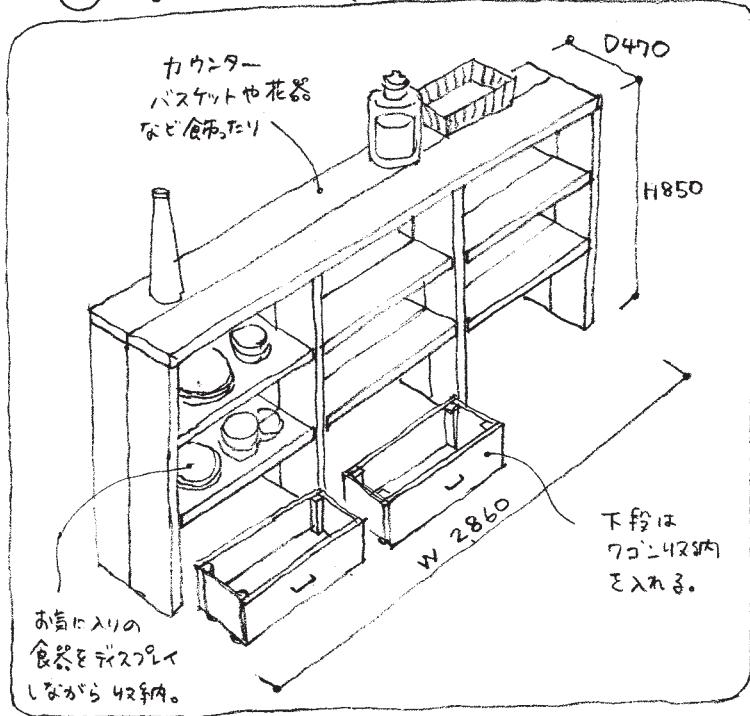
- ⑦ ローラーを4箇所に固定。取手も取り付ける。



- ⑧ BRIWAX 2"塗装して完成。



e オープン棚間をつくる



材料

天板

- 2×10材 × 2枚
38×235×3048mm

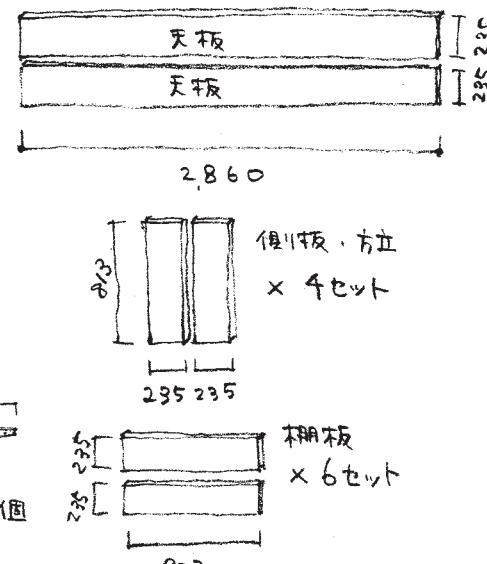
側板

- 2×10材 × 4枚
38×235×1828mm

棚板

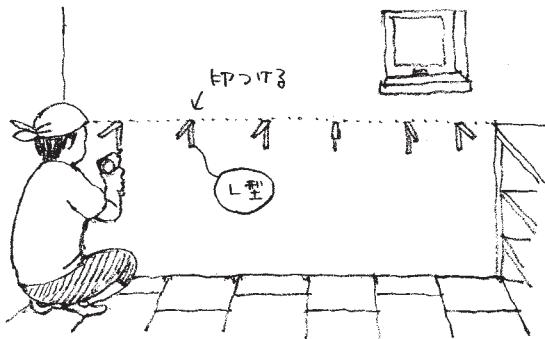
- 1×10材 × 6枚
19×235×1828mm

- L型金物 大
380
320
× 18個
- 小
320
× 24個
(丈夫なもの)

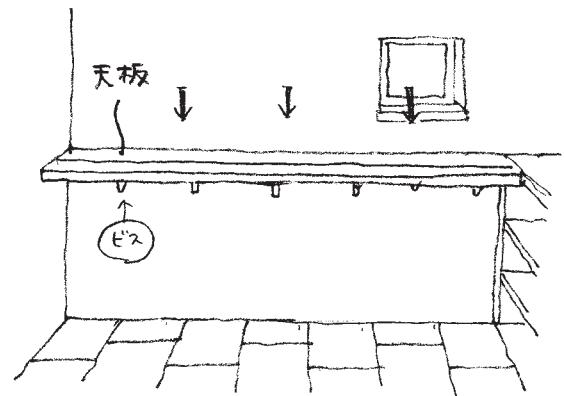


つくりかた

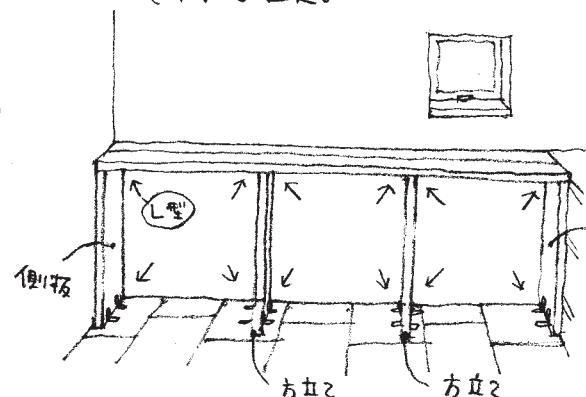
① 壁・床の仕上げ終了後、天板を取り付ける。
まず、マスキング等で印をつけて、L型金物(大)を壁に固定。



② 天板 2×10材(2枚)置き、ビスで固定。



③ 側板・方立てを天板と床にL型金物(小)で固定。



④ 棚板をL型金物(大)で固定。

